

## 健康とくらしの調査実施（案）について

### 1 目的

介護保険制度で取り組まれている介護予防事業の推進とその効果評価を科学的根拠に基づき行うとともに、第10期介護保険事業計画策定に向けた根拠資料を得ることを目的とする。

### 2 実施内容

#### (1) 調査地域

碧南市全域

#### (2) 調査対象者

要介護認定を受けていない第1号被保険者（約15,500人）

※要支援認定者、事業対象者を含む

#### (3) 調査票発送者

上記調査対象者のうち、2019年度調査対象者を優先に、7,500名を抽出。

#### (4) 調査期間

令和7年10月中旬から～11月中旬まで（予定）

※令和7年10月1日号の広報へきなんで周知予定

#### (5) 調査方法

郵送による調査票の送付・回収方式

※前回（令和4年度）の回収率は、74.1%、5,555件／7,500名

#### (6) 調査委託先

一般社団法人 日本老年学的評価研究機構（高齢者の健康や生活に関する調査・研究を行っている団体であり、主に大学や自治体と連携し、介護予防や健康寿命の延伸に役立つデータを収集・分析している）

※前回、63市町村が参加している

### 3 調査票

#### (1) 基本項目 16項目（高齢者の健康や生活状況を把握するための調査）

健康状態、身体機能状況、生活習慣、要介護リスク、社会関係、家族・住宅・周辺環境、年金、ライフイベント等

(2) オプション項目 4項目程度（より詳細な実態把握のための調査）

認知・共生、救急車、薬、医療、ワクチン、看取り、祭、サロン、目・耳、栄養、眠り、口腔・タバコ、災害、自殺・規範・差別・健康寿命、住居、温泉、チーズ、感謝、仕事、スポーツ、QOL、孤立、痛み等

(3) 保険者独自項目

記載例（前回の独自項目より一部抜粋）

【問1】あなたは介護保険制度についてどの程度知っていますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 申請や手続きの方法を知っている
2. 受けられるサービス内容を知っている
3. 保険料の仕組みを知っている
4. 聞いたことはあるが、内容は知らない
5. まったく知らない

【問2】介護保険の保険料は、市全体で使われる介護サービスの量で決まります。

あなたは、保険料の負担と介護サービスについてどう思いますか（1つのみに○）。

1. 介護サービスが充実するなら保険料が高いのはやむを得ない
2. 介護サービスの充実より保険料が安い方がよい
3. 平均的なサービスで平均的な保険料がよい
4. 現状のままで保険料が高くない方がよい
5. わからない

【問3】あなたは介護予防の拠点であり、高齢者に関する相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか（1つのみに○）。

1. 相談などで利用したことがある
2. 何をやっているのか知っている
3. 場所は知っている
4. 名前は聞いたことがある
5. 知らない